

地域政策学部地域政策学科のディプロマ・ポリシー

地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協カ・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士(地域政策学)の学位を授注します。

1. 知識・理解

社会科学・人文科学系の学問領域を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の諸課題について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

世界、そして日本全体の政治・社会・経済の動向を見据え、多様な知識を融合・活用しながら、地域の諸課題に対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

地域の自律的・持続的発展に向けた政策構想について、倫理的妥当性と実現可能性、そして地域社会との協働を視野に入れた議論を展開することができる。

4. 技能・技術

地域の諸課題について、多様かつ広範な視点から調査・考察し、その成果を、自律した個人として、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。

経済経営・デジタルマネジメントコースのディプロマ・ポリシー

地域の経済や企業等の発展に貢献することができる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士（地域政策学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の経済や企業等に関する諸現象について多面的に理解することができる。

2. 思考・判断

地域の経済や企業等が抱える問題を発見し、経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の知識を融合・活用しながら、それに対する解決策を構想することができる。

3. 態度・実践

地域の経済や企業等の問題解決策を構想するにあたり、デジタル技術やデータ分析などを用いながら、地域の様々な主体とコミュニケーションをとり、協力・協働して、フィールドワークを実施したり、実験的な取組を実践したりすることができる。

4. 技能・技術

地域の経済や企業等の課題について調査・研究を行い、その成果を、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。